

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス コローレ東川			
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～	令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～	令和7年 2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども主体の活動を中心に支援プログラムを組んでおり、自主性を育んだり、子どもが考えた活動の中で自分達でルールを決め守る事の大切さを学ぶ事が出来る事。	出来そうな事の提案やヒントを出す事で何をやるうか見つかる事へ繋げる。個々に好きそうな事を察知し提案する。大人との遊びだけでなく仲間を見つけて小集団となり、関わりが出来る事も目標にしている。トラブル時には解決方法を考え、人から与えられたルールではなく自分達で決める事で守る事への意識が出来るよう促している。	やりたい！という事が出来た時に出来るだけすぐに対応が出来るような準備が必要。
2	職員間で支援に対しての振り返りや意見交換がしっかりなされている。	限られた時間の中で子どもたちとの関わりで気になる事や個々が考えている事を話せるような環境作り。	情報の伝達で漏れがないよう気を配り、更に適切な方法を考えられると良い。
3	保護者さんと支援者の双方が子どもたちの様子や支援について相談しやすい関係性を作り、明るい雰囲気になるよう心掛けている。	こまめな情報共有とコミュニケーション。LINE等を使い活動の写真を個人個人にも送り様子を共有できるようにしている。保護者会ではラフな雰囲気を大切に話しやすい環境を作るようにしている。	今後HPでも活動の様子を公開出来るようにしてゆく。送迎時の短時間を上手に使い保護者さんとのコミュニケーションを取れるよう意識する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	常勤職員間での話し合いや検討課題をパート職員に効率よく伝えられていない。子どもたちの様子で気をつけたい事が伝わっていない事があった。	パートさんが出勤してから子ども達が来所するまでの時間が短くゆっくり丁寧に伝えられない事がある。現在は口頭での事が多い。	パート職員が出勤してからどこを見たら一度に情報を伝えられるか、方法を再検討する必要がある。（口頭ではなく何か別なツールはないか）⇒朝のミーティング記録の確認と共に、各種の確認して欲しい書類の記載をしておき、各自出勤時に目を通してもらう事を徹底する。記録内容で気になる事は口頭で詳細伝える事も必要。
2	これまでペアレントトレーニングを大々的には行っていないが知識をしっかり持つ必要があると感じている。	職員体制の関係でペアレントトレーニングの研修を受けたり社内研修等を行う事が出来ない。	研修等の一年間の取り組みの中でペアレントトレーニングや支援者の関わり方について考え学ぶ機会を意識的に作るべき。現在はミーティング時や支援の振り返りの際にやっている程度なのでもっと深めてゆく必要がある。
3	事故防止、緊急時、災害時、感染症等、対応マニュアルは作成しているが広く保護者さんに周知されていない。	周知方法が定まっていない。	HP上で一括して確認が出来るよう整備してゆく。その旨を保護者さんに周知。避難訓練は今まで通り通信でお知らせする。